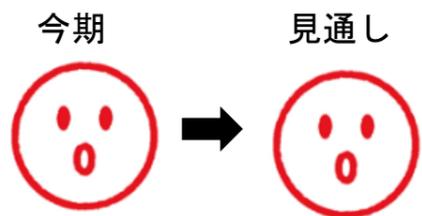


# 建設業

回答率：100% (25/25)



## ■丹波市の景況推移

原材料の大幅な高騰、材料の納品遅れ、工期の遅延が未だ続いている。今までの受注分の売上の入金により、売上が伸びた事業所も見受けられるが、コロナの影響により、今後も売上は変動すると思われる。



## ■丹波市の景況動向

### 【丹波市の今期の景況】

原材料の高騰と資材不足が未だ続いており、原材料の仕入値が2割以上上昇している。見積期限を長めに設定し、価格変化に対応している事業所が見受けられる。個人客の需要低迷が変わらず続いている。

### 【丹波市の来期の景況予想】

原材料の高騰と資材不足、工期遅れがまだまだ続くと予想される。7月以降、新型コロナウイルスの急激な感染拡大により、個人客の需要が停滞することが予想されるが、現在抱えている受注分の工期を終える見通しもあり、少しずつ売上、収益ともに改善していくと思われる。

## ■全国の景況動向

官公需の工事を中心に受注が堅調であるものの、資材等の価格高騰が続く中、上昇分の価格転嫁が追い付かず、採算の悪化を招いている。また、建築資材が入手困難であることから、工期が延長し、人件費等のコストが増加している。加えて、工期延期で売上の入金が遅れ、資金繰りが悪化している事業者が増加している。

## ■県下の景況動向

原材料の高騰やロシアのウクライナ侵攻等の影響を受け、業況は全体的に悪化している。売上額は伸びている傾向にあるが、採算が悪化しており収益を得るまでには至っていない。今後、売上、収益ともに改善される見通しではあるが、新型コロナウイルス感染症の拡大、原油価格・物価高騰の影響により、左右される可能性がある。

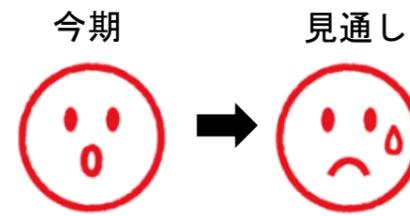
## ■地区ごとの回答 (前年同期比)

	柏原	氷上	青垣	春日	山南	市島	合計	構成比
良い (増加+やや増加)	2	1	1	1	1	1	7	28.0%
不変	1	5	0	2	2	1	11	44.0%
悪い (悪化+やや悪化)	0	6	0	1	0	0	7	28.0%
合計	3	12	1	4	3	2	25	100.0%

# 製造業

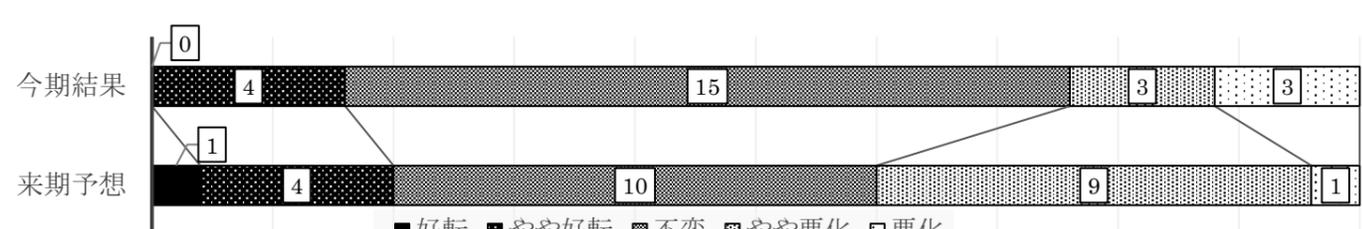
回答率：100% (25/25)

2022年4月～6月期調査



## ■丹波市の景況推移

新型コロナウイルスの行動制限解除の影響が、数か月後から出てくるため、一部好転の兆しもあるが、製造業全般において、原材料の価格高騰が継続的に発生をしており、将来的に先行きを不安視している事業所が多く見受けられる。



## ■丹波市の景況動向

### 【丹波市の今期の景況】

製造業全般として電気代の値上がり(基本料金2倍以上)をはじめ、あらゆる材料の高騰の影響を受け収益を圧迫し厳しい景況感である。半導体不足の影響で操業が落ち、関連工場にも影響がでている業種も含め厳しい状況である。

### 【丹波市の来期の景況予想】

コロナの制限解除による影響が3か月から半年後に出てくるとのことで、金属製品製造業はやや好転の予想がある反面、多くの製造業は原材料不足・高騰が続くことが想定されるため採算の悪化が予想される。

インボイス制度に関して、非課税事業者にとってはこれまで利益になっていた消費税を吐き出さないといけない状況が見えており、小規模な事業所にとっては収益悪化の状況が懸念される。

## ■全国の景況動向

食料品関連は、催事・イベントの活発化により売上が改善傾向にあるものの、小麦や油等の高騰が止まらず、価格転嫁が追い付かず、採算は厳しくなっている。機械・金属業関連は、経費増加分を価格転嫁できず、資金繰りが悪化してきている。繊維業関連は原材料の入荷待ちのため稼働率が低く支出が先行する為資金繰りが悪化している。

## ■県下の景況動向

全体的に業況は改善されておらず、原材料不足・高騰が継続的に発生をしており、来期以降について不安視する声がある。経費増加分を価格転嫁できず、利益の圧迫により業績が低迷していくことが懸念される。

## ■地区ごとの回答 (前年同期比)

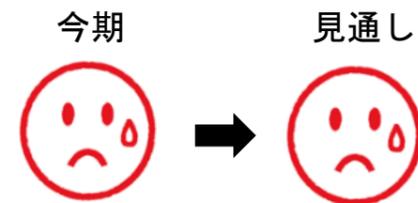
	柏原	氷上	青垣	春日	山南	市島	合計	構成比
良い (増加+やや増加)	1	4	0	1	1	2	9	36.0%
不変	1	2	3	1	1	0	8	32.0%
悪い (悪化+やや悪化)	0	3	2	1	1	1	8	32.0%
合計	2	9	5	3	3	3	25	100.0%

# 小売、卸売業

回答率：100% (25/25)

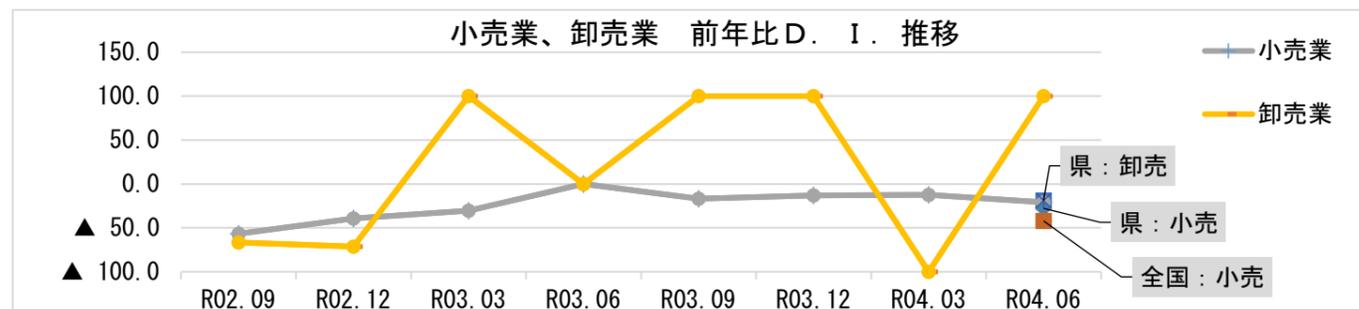


良い やや良い 普通 少し悪い やや悪い 悪い



## ■丹波市の景況推移

厳しい行動規制が採られない事により人流がもどりつつあり、需要拡大の期待は持てる状況。一方、原油価格高騰や円安による輸入製品価格上昇により、これをいかに価格に転嫁できるかが課題。



## ■丹波市の景気動向

### 【丹波市の今期の景況】

移動制限のない大型連休があり、帰省や観光客の増加による売上拡大を図れた業種も多かった。しかし特に後半、原油価格の高騰が幅広い商品や材料の値上げに影響した。顧客の買い控え行動を恐れ、仕入原価を販売価格に転嫁できずに販売を続けている事業所が多く、利益の減少や資金繰りの悪化を来しているケースも散見される。

### 【丹波市の来期の景況予想】

コロナ感染症が広がる中でも、厳しい行動規制が採られない事により人が動き出しており、需要拡大の期待は持てる状況である。一方、原油価格の高騰や円安による輸入製品価格の上昇により、これをいかに価格に転嫁できるかが大きな課題となっている。競合店舗の動向を窺いながら、値上げ商品の選定やタイミングなど難しい判断を迫られる状況が続く。

## ■全国の景気動向

各種食料品小売については、物価上昇はあるものの引き続き好調な売上状況が見られた。一方、燃料小売業では悪化。また半導体不足による生産計画の遅延が引き続き自動車小売業種や家電販売業種の業況回復を妨げている状況。

## ■県下の景気動向

県下の観光地では、GW期間を含めコロナ感染症が落ち着いた事で人流が戻り活況を呈していた。また飲食店の業況回復に連動する形で酒類や食品卸の需要回復も一部では見られた状況。しかし燃料費高騰や輸入製品価格の上昇が幅広い業種に於いて利益を圧迫している状況は、市内の景気動向と同様である。

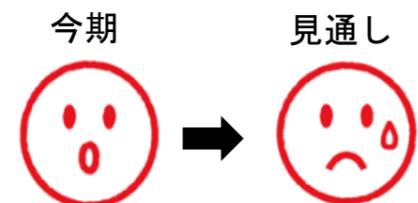
## ■地区ごとの回答（前年同期比）

	柏原	氷上	青垣	春日	山南	市島	合計	構成比
良い (増加+やや増加)	2	2	1	0	1	1	7	28.0%
不変	0	3	0	2	1	1	7	28.0%
悪い (悪化+やや悪化)	4	4	0	2	1	0	11	44.0%
合計	6	9	1	4	3	2	25	100.0%

# 飲食・宿泊、サービス、その他業種

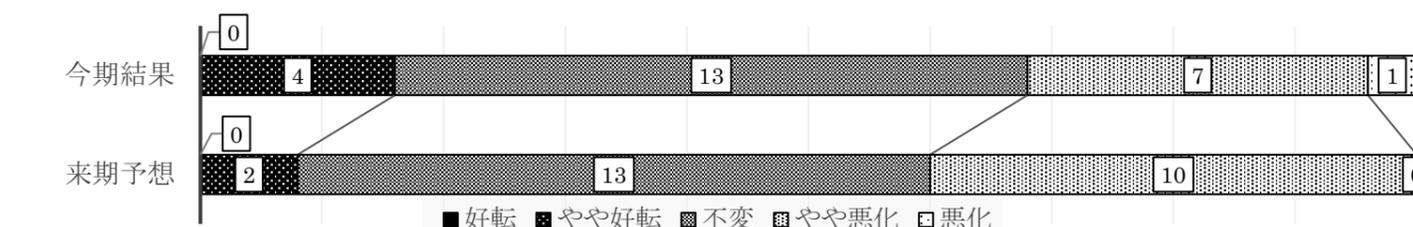
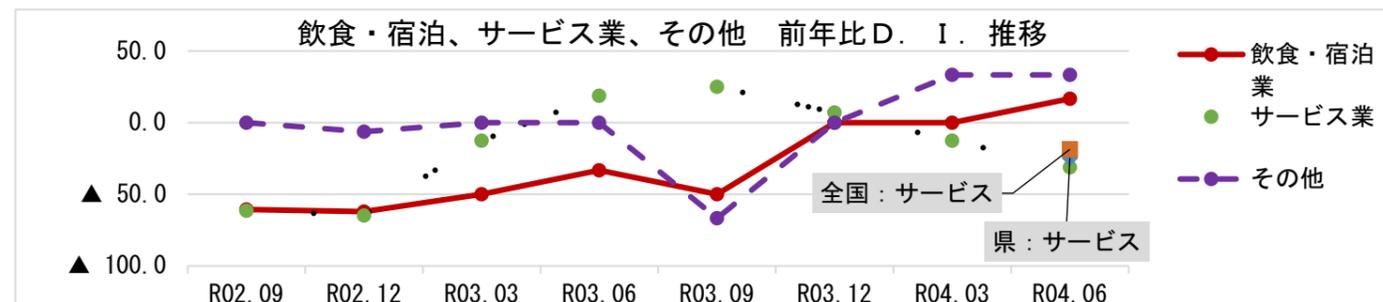
回答率：100% (25/25)

2022年4月～6月期調査



## ■丹波市の景況推移

人流が復調する中で夏季の需要を取り込むことを視野に入れていた事業所が多く存在したが、第7波の影響により、消費マインドが低下し、また、価格高騰の影響も厳しく、不安要素が依然大きい。



## ■丹波市の景気動向

### 【丹波市の今期の景況】

コロナウイルスの落ち着いたきもあり、客足は戻りつつあるが値上がり分を価格転嫁することが難しく、経営への影響は厳しい状況が続いている。その中でコロナを契機に都市部の消費者、事業者が地方の不動産を購入するケースが増加し、氷上、柏原エリアの地価に上昇傾向が見られる。

### 【丹波市の来期の景況予想】

第7波としてコロナの再拡大を受け、団体や宴会のキャンセルが増加し、夜の需要が減少している。全業種で消費マインドの低下になると予想され、また、燃料費や原材料費等の更なる値上げの対応に苦慮する事業所が増加することが予想される。

## ■全国の景気動向

コロナウイルスの感染が落ち着いたき、人流が復調する中、対面型サービスを中心に観光客やビジネス客とも客足が戻ってきており、また、理美容業についても安定した頻度で来店があることから、売上回復に繋がっている。ただ、業種全般に言えることだが燃料費や食材、資材等の値上がりの影響を受け、価格転嫁がなかなか困難であることから業況・採算・資金繰りとも悪化している。

## ■県下の景気動向

宿泊関連事業者は県施策等により売上増加となった施設も多いが、原油価格高騰により燃料費や原材料費等の値上がりにより、依然厳しい状況が続いている。

## ■地区ごとの回答（前年同期比）

	柏原	氷上	青垣	春日	山南	市島	合計	構成比
良い (増加+やや増加)	1	2	1	1	0	0	5	20.0%
不変	3	2	2	3	2	0	12	48.0%
悪い (悪化+やや悪化)	1	4	1	0	1	1	8	32.0%
合計	5	8	4	4	3	1	25	100.0%